



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2022 Spring からの変更点
- 4. 機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. 制限事項
- 8. 保証規程
- 9. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2022-12-01	初版
------------	----

本書の目的

本書では IM-PDFCoordinator for Accel Platform のリリース内容について記載しています。

サポート終了

Microsoft Internet Explorer 11 のサポート終了に伴い、セキュリティ機能の「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」の2機能は2022年6月15日をもってサポートを終了いたしました。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

- IM-PDFCoordinator for Accel Platform を利用したアプリケーション開発

連携エンジン

PDFメイクアップ

PDFファイルを編集、加工するために必要なソフトウェアです。

スタンドアロン構成と分散構成

本書におけるスタンドアロン構成と分散構成は次の構成を指します。

スタンドアロン構成

intra-mart Accel Platform と同じサーバに連携エンジンを導入する構成です。

分散構成

intra-mart Accel Platform とは別のサーバ（PDF処理サーバ）に連携エンジンを導入する構成です。（IM-PDFCoordinator for Accel Platform は、スタンドアロン構成のみサポートしていません。）

— IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2022 Winter リリースノート 初版 2022-12-01 IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2022 Spring からの変更点

機能

- セキュリティ機能の「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」のサポートが終了した旨を追記しました。
- 提供機能に関する一覧表の Linux 版を修正しました。
- Linux 環境のエディット機能の文字付与に関するコラムを修正しました。

システム要件

- クライアント要件
 - セキュリティ機能の「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」のサポートが終了した旨を追記しました。
- セキュリティ要件
 - 保存場所制限 ・ 閲覧期限制御
 - セキュリティ機能の「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」のサポートが終了した旨を追記しました。

検証済み環境

- サーバ環境
 - Windows Server 2019 日本語版 -> 2022 日本語版 に変更しました。
 - Resin 4.0.65 -> 4.0.66 に変更しました。
 - Payara Server 5.2020.2 を削除しました。
 - PDFメイクアップ Windows版 4.1.0 -> 4.1.3.0 に変更しました。
 - PDFメイクアップ Linux版 4.1.0 -> 4.1.3.0 に変更しました。

制限事項

【追加された制限事項】

- 追加された制限事項はありません。

【変更された制限事項】

- 「[セキュリティ機能の新規販売停止について](#)」の制限事項を変更しました。
- 「[Linux 環境下では、次の機能制限があります](#)」の制限事項を変更しました。

【削除された制限事項】

- 削除された制限事項はありません。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform

IM-PDFCoordinator for Accel Platform に含まれる機能の一覧です。

機能	機能概要
セキュリティ機能	PDFファイルにセキュリティを付与する機能です。この機能はAPIで提供されます。 詳細については、「 セキュリティ機能詳細 」を参照してください。
マージ機能	PDFファイルに 印影付与、重ね合わせ、透かしの挿入、および、用紙サイズの変更を行う機能です。この機能はAPIで提供されます。 詳細については、「 マージ機能詳細 」を参照してください。
ページ機能	PDFファイルを 結合、抽出・分割、および、回転する機能です。この機能はAPIで提供されます。 詳細については、「 ページ機能詳細 」を参照してください。
エディット機能	PDFファイルに 文字・画像追記、しおり・リンク付与、フォーム・注釈追加、および、JavaScriptの挿入をする機能です。この機能はAPIで提供されます。 詳細については、「 エディット機能詳細 」を参照してください。

コラム

上記4機能全てで、PDFファイルのページ数・用紙サイズの取得、および、PDFファイルへのパスワード付与・解除の機能を利用することができます。

詳細については、「[共通機能詳細](#)」を参照してください。

注意

IM-PDFCoordinator for Accel Platform は [スタンドアローン構成](#) のみ対応しています。[分散構成](#) は対応していません。

注意

Microsoft Internet Explorer 11 のサポート終了に伴い、セキュリティ機能の「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」の2機能は2022年6月15日をもってサポートを終了いたしました。

提供機能については、次の通りです。

○：制限なし

△：制限があるが使用可能

▲：2バイトコード使用不可

×：使用不可

機能	Windows 版	Linux 版
結合	○	○
抽出・分割	○	○
回転	○	○
印鑑追加（IOD追記）	○	○
セキュリティ付与・解除	○	○
用紙サイズの変更	○	○
文字付与	○	△
画像付与	○	○
注釈付与	○	▲
フォーム付与	○	▲
しおり・リンク付与	○	▲
レイヤ・重ね合わせ	○	▲
フォント埋め込み	○	×
保存場所制限	○	×
閲覧期限制御	○	×

コラム

Linux 環境で文字付与する場合は、次の制限があります。

- 文字付与機能をコール／実行するプログラムに、指定の文字コードを設定する必要がある。
- 文字コード MS932 で扱えない文字は追記できない。（扱えない文字を追記しますと文字化けします）

プログラムの修正については「[IM-PDFCoordinator for Accel Platform プログラミングガイド](#)」を参照してください。

機能	機能概要
情報取得	PDFファイルのページ数、および、用紙サイズを取得する機能です。
パスワード付与	PDFファイルに オープンパスワード、または、セキュリティパスワードを付与し、閲覧／印刷／アクセス／コピー／編集についての権限を制限する機能です。 オープンパスワードとは、PDFファイルを開く際のパスワードです。セキュリティパスワードとは、PDFファイルの各権限を制限するためのパスワードです。
パスワード解除	パスワード付きのPDFファイルに、同パスワードが指定されることでPDFファイルの各権限の制限を解除する機能です。

セキュリティ機能 詳細

機能	機能概要
保存場所制限	指定されたURL、または、物理パスでPDFファイルを開いた場合のみ閲覧可にする機能です。
閲覧期限制御	閲覧期限が設定されたPDFファイルを、設定された期間内は閲覧可、期間外は閲覧不可にする機能です。 期限は、PDFファイルを開いたマシンの日時をもとに判断されます。

マージ機能 詳細

機能	機能概要
印影付与	PDFファイル上の指定されたページや位置に、ベクターデータの印影、または、ラスターデータの印影を付与する機能です。
重ね合わせ	複数のPDFファイルを上下に重ね合わせる機能です。
透かしの挿入	違法なコピーや配布を抑制するため、PDFファイルにレイヤを重ね、レイヤ毎に文字・画像等のオブジェクトを印刷制御、または、表示制御する機能です。
用紙サイズの変更	PDFファイルを指定された用紙サイズに拡大、縮小する機能です。

ページ機能 詳細

機能	機能概要
結合	複数のPDFファイルを指定された順序で結合する機能です。

機能	機能概要
抽出・分割	複数のページを持つPDFファイルから指定されたページを抽出、または、分割し、新規のPDFファイルを作成する機能です。
回転	指定された角度にPDFファイルを回転する機能です。

エディット機能 詳細

機能	機能概要
文字・画像追記	PDFファイル上の指定されたページや位置に、文字、または、画像を追記する機能です。
しおり・リンク付与	PDFファイル上の指定されたページや位置に、しおり、または、リンクを付与する機能です。
フォーム・注釈追加	PDFファイル上の指定されたページや位置に、フォーム、または、注釈を追加する機能です。
JavaScriptの挿入	PDFファイルに JavaScript を挿入する機能です。

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

intra-mart Accel Platform のサーバ要件

- intra-mart Accel Platform 2022 Winter (Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition)
- 利用する intra-mart Accel Platform の [サーバ要件](#) に準じます。
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform は、連携エンジン PDFメイクアップ が必要です。

そのため、連携エンジンを動作させるために、対象サーバに次の要件が追加が必要です。

種別	製品名
必要メモリ容量 (連携エンジン)	4GB以上
必要ディスク容量 (連携エンジン)	次の合計値 <ul style="list-style-type: none">▪ 10GB以上▪ 一時ファイルを作成するために必要な空きディスク容量
CPU (連携エンジン)	2GHz以上を推奨

注意

一時ファイルを作成するために必要な空きディスク容量は、ファイルの大きさや利用頻度によって異なります。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform は、次の一時ディレクトリを使用します。

- オペレーティングシステムの一時ディレクトリ
- Javaの一時ディレクトリ (java.io.tmpdir)
- intra-mart Accel Platform の一時ディレクトリ

一時ディレクトリの空き容量が不足している場合、PDF帳票の出力に失敗する可能性があります。

注意

CPUのコア数については、同時処理要求が発生する頻度とファイルサイズに応じて必要なコア数を用意してください。



注意

IM-PDFCoordinator for Accel Platform は、[スタンドアローン構成](#)のみ対応しています。



注意

次のバージョンは必ず正しい組み合わせで運用してください。

異なる組み合わせはサポート対象外です。

- intra-mart Accel Platform のバージョン
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform のバージョン
- 連携エンジン PDFメイクアップ のバージョン

連携エンジンの詳細なバージョンについては、「[IM-PDFCoordinator for Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[連携エンジンバージョン](#)」を参照してください。

クライアント要件

利用する intra-mart Accel Platform の [クライアント要件](#) に準じます。



注意

セキュリティ機能の保存場所制限、または、閲覧期限制御を使用する場合、クライアント要件は次の通りです。

詳細については、「[保存場所制限](#)・[閲覧期限制御](#)」を参照してください。

OS	ブラウザ	プラグイン
Windows 10	Internet Explorer 11	Adobe Acrobat Reader
		Adobe Acrobat

上記クライアント要件以外の組合せは対応していません。



注意

Microsoft Internet Explorer 11 のサポート終了に伴い、セキュリティ機能の「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」の2機能は2022年6月15日をもってサポートを終了いたしました。

ライセンス要件

- intra-mart Accel Platform を複数台運用する場合、各環境ごとアプリケーションサーバ単位で

- 連携エンジン PDFメイクアップ の機能単位で、ライセンスが必要です。

ライセンス名	概要
セキュリティ機能 ライセンス	セキュリティ機能 を導入するために必要なライセンスです。
マージ機能 ライセンス	マージ機能 を導入するために必要なライセンスです。
ページ機能 ライセンス	ページ機能 を導入するために必要なライセンスです。
エディット機能 ライセンス	エディット機能 を導入するために必要なライセンスです。

セキュリティ要件

オープンパスワード ・ セキュリティパスワード

- オープンパスワード を付与した際、設定できるセキュリティの暗号化レベルは次の通りです。
 - 40bit RC4
 - 128bit RC4
 - 128bit AES
- オープンパスワード、および、セキュリティパスワード は、PDF閲覧ソフト、または、Webブラウザインでの Adobe 製品上での閲覧のみ対応しています。



注意

オープンパスワード と セキュリティパスワード に同一のパスワードを設定した場合、PDFファイルを開くと付与したセキュリティが必ず解除されます。

そのため、オープンパスワード と セキュリティパスワード は異なるパスワードを設定してください。



注意

オープンパスワード と セキュリティパスワード を併用して使用することを推奨します。

保存場所制限 ・ 閲覧期限制御

- 保存場所制限、および、閲覧期限制御 は Adobe 製品でのみ解読可能な JavaScript を、PDFファイルに埋め込むことで制限をかけています。そのため、保存場所制限 や 閲覧期限制御 を設定したPDFファイルでもダウンロードは可能です。

- 保存場所制限 は、Webプラグインとして指定する Adobe 製品が認識するURLでチェックをします。



注意

保存場所制限、および、閲覧期限制御 はブラウザでのみ動作する機能です。PDF閲覧ソフト単体では動作しません。

利用する際は、Webプラグイン、および、JavaScript の設定が必要です。



注意

画面のキャプチャを制限する機能はありません。



注意

保存場所制限、および、閲覧期限制御 はPDFの規格とは異なる形でセキュリティを付与します。

そのため、Webプラグインのバージョンアップにより、機能が正常に動作しなくなる恐れがあります。

保存場所制限、および、閲覧期限制御 は補助的な位置づけのため、セキュリティ強度の高い オープンパスワード、および、セキュリティパスワード と併用して使用することを推奨します。



注意

Microsoft Internet Explorer 11 のサポート終了に伴い、セキュリティ機能の「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」の2機能は2022年6月15日をもってサポートを終了いたしました。

以下、弊社動作検証済みの組み合わせです。

intra-mart Accel Platform のサーバ環境

intra-mart Accel Platform	OS	JDK	Web Application Server	連携エンジン
2022 Winter(Freesia)	Windows Server 2022 日本語版	Oracle JDK 11.0.7	Resin 4.0.66	PDFメイクアップ 4.1.3.0 Windows版
2022 Winter(Freesia)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Resin 4.0.66	PDFメイクアップ 4.1.3.0 Linux版

全般

ウイルスソフトがPDF処理を妨げる可能性があります

ウイルスソフトが、PDF処理中のファイルを排他制御することがあります。

そのような場合は、PDF編集・加工関連の使用エリアをウイルスチェックの対象から外してください。

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を同一サーバに設置する場合、連携エンジンの環境変数の設定順序に注意してください

IM-PDFCoordinator for Accel Platform と IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を同一サーバに設置する場合、インストールしている連携エンジンの環境変数の設定順序に注意してください。

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を導入している場合、インストールしている 連携エンジン PDFオートコンバータEX の環境変数より、 連携エンジン PDFメイクアップ の環境変数が先になるよう設定してください。

正しい順序で設定をしていない場合、エラーが発生します。

セキュリティ機能 の新規販売停止について

セキュリティ機能 の一部機能はサポートが終了いたしました。

サポート終了に伴い、IM-PDFCoordinator for Accel Platform の セキュリティ機能（Security）は新規ユーザー様への新規販売を停止いたします。

サポートを終了した機能

- 保存場所制限
- 閲覧期限制御

サポートを継続する機能

- 情報取得（共通機能）
- パスワード付与（共通機能）
- パスワード解除（共通機能）



注意

- パスワード付与などの共通機能は、IM-PDFCoordinator for Accel Platform のマージ機能（Merge）、ページ機能（Page）、および、エディット機能（Edit）でも使用可能です。これらの機能を既に購入している場合、IM-PDFCoordinator for Accel Platform のセキュリティ機能（Security）を購入する必要はございません。
- 既存ユーザ様が互換性維持のために IM-PDFCoordinator for Accel Platform のセキュリティ機能（Security）を新規購入することは問題ございません。

Linux 環境時の制限事項

Linux 環境下では、次の機能制限があります

- セキュリティ機能

Linux 環境では、提供されません。

- エディット機能

Linux 環境で文字付与する場合は、次の制限があります。

- 文字付与機能をコール／実行するプログラムに、指定の文字コードを設定する必要がある。
- 文字コード MS932 で扱えない文字は追記できない。（扱えない文字を追記しますと文字化けします）

機能制限の詳細については、「[Windows 版と Linux 版では、提供機能に差異があります](#)」を確認してください。

処理対象PDFファイル

サポートしているPDFファイルでも正常に処理されない可能性があります

IM-PDFCoordinator for Accel Platform では、

- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform
- IM-PDFDesigner for Accel Platform
- 富士フイルムビジネスイノベーション社複合機
- Canon社複合機
- Adobe Acrobat のPDFMaker、または、Adobe Distillerの標準設定の機能

から生成されたPDFファイルをサポートしています。上記以外から生成されたPDFファイルはサポートできません。

i コラム

サポートする Adobe Acrobat のバージョンは、次の通りです。

- Adobe Acrobat Windows版 8、9、X、XI、DC、2017、2020

ただし、別のファイルが添付されたPDFファイルは、添付ファイルが外れて処理されます。

また、PDFファイルに JavaScript を付けたものは、JavaScript が削除される可能性があります。

その他、次のケースは正常に処理、表示されない可能性があります。

- バインダー化されたPDFやPDFポートフォリオ等、 Adobe Acrobat 8.X以降のものから出力されるPDFの規格1.7に相当する機能を使用したPDFファイル
- 電子署名が付与されているPDFファイル
- その他特殊な機能や特殊な設定を使用したPDFファイル

PDF処理のサポートできないファイル形式やケース

PDF処理のサポートできない編集対象ファイルの形式やケースは、次の通りです。

- 付与されている オープンパスワード が不明なPDFファイル
- 付与されている セキュリティパスワード が不明なPDFファイル
- サードベンダーソフトによって変換されたPDFファイルを、 Adobe Acrobat で編集したPDFファイル
- Adobe Acrobat 3D、または、 Adobe Acrobat 9 Pro Extended以降で作成された3Dオブジェクトが使用されているPDFファイル
- その他特殊な機能や特殊な設定を使用したPDFファイル

オブジェクトが追加されている編集対象ファイルを使用した場合、処理によってオブジェクトのデータが欠落します

オブジェクトが追加されている編集対象ファイルを使用した場合、処理によってオブジェクトのデータが欠落し、出力PDFファイルの見え目が崩れます。

オブジェクトのデータの処理結果については、次の通りです。

○：処理が成功し、データも保持される。

×：処理は成功するが、データが欠落する。

処理	注釈	フォーム	しおり	リンク
結合	○	○	×	○
分割、抽出	○	○	×	○
回転	○	○	×	○

処理	注釈	フォーム	しおり	リンク
印鑑追加 (IOD追記)	○	○	○	○
セキュリティ付与・解除	○	○	×	○
文字・画像付与	○	○	×	○
しおり・リンク付与	○	○	×	○
レイヤ・重ね合わせの最下面ファイル	○	○	○	○
レイヤ・重ね合わせの最下面ファイル以外	×	×	×	×
用紙サイズの変更	×	×	×	×

コラム

電子署名のデータの処理結果については、次の通りです。

- WEB最適化ONの場合、エラーが発生し、処理は失敗する。
- WEB最適化OFFの場合、処理は成功するが、データが欠落する。

コラム

設定によっては、上記表に合致しない場合もあります。

ファイルサイズが2GBを越すPDFファイルはPDF処理できません

ファイルサイズが2GBを越すPDFファイルはPDF処理できません。

そのような場合、PDFファイルを分割後、PDF処理してください。

Shift_JIS 以外の文字コードのデータファイルはサポートできません

Shift_JIS 以外の文字コードのデータファイルはサポートできません。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform のAPIで扱うデータファイルの文字コードは Shift_JIS のみです。

コラム

UTF-8 (BOMあり) の文字を追記したい場合、IM-PDFDesigner for Accel Platform を使用してPDFファイルを作成後、PDFファイルの重ね合わせを行ってください。

画像の形式によって、PDFファイルに画像追記できないケースがあります

PDFファイルに画像追記する際、画像の形式によっては想定通り追記できないケースがあります。

- 画像形式：BMP、JPEG（RGB）、TIFF（G4）、PNG
- 画像の内容：透過属性の無いもの

セキュリティ機能

編集対象ファイルに事前にセキュリティが付与されている場合、PDF処理ができません

セキュリティ機能を付与する編集対象ファイルに、事前にセキュリティが付与されている場合、エラーが発生し、PDF処理ができません。

オープンパスワード、または、セキュリティパスワードが設定されている場合、次のいずれかの対応を行ってください。

- オープンパスワード、および、セキュリティパスワードが設定されている場合、設定されているセキュリティパスワードを指定し、APIで処理をする。
- オープンパスワードのみが設定されている場合、設定されているオープンパスワードを指定し、APIで処理をする。
- セキュリティパスワードのみが設定されている場合、設定されているセキュリティパスワードを指定し、APIで処理をする。

PDFビューワによって、PDFファイルを開覧、編集できる可能性があります

セキュリティ機能が付与されていても、PDFビューワによって、PDFファイルを開覧、編集できる可能性があります。

PDFファイルの配布先が、「[クライアント要件](#)」に準じているか確認してください。



注意

オープンパスワードはPDFファイル自体を暗号化しますが、PDFビューワによって、オープンパスワードを入力しなくてもPDFファイルが開覧できてしまいます。

また、セキュリティパスワードの制御は単純なフラグのため、フラグを無視するPDFビューワを使用した場合、PDFファイルが開覧、編集できてしまいます。

そのため、オープンパスワードとセキュリティパスワードは併用して使用することを推奨します。



注意

保存場所制限、または、閲覧期限制御のみを設定した場合、PDFファイルを開覧できてしまうため、保存場所制限、または、閲覧期限制御を使用する場合は、セキュリティパスワードを併用して使用することを推奨します。

PDF閲覧ソフトとして使用する Adobe Acrobat Reader、および、Adobe Acrobat には、次の制限事項があります。

- Adobe Acrobat Reader、および、Adobe Acrobat の一部バージョンには、今回の手法と合致していないバグがあり、セキュリティ機能の条件が合致しても正常に動作せずPDFファイルが表示されない可能性があります。
- Adobe Acrobat Reader、および、Adobe Acrobat 10.1 において表示スピードが遅くなる環境が一部あります。そのような場合、特別な設定が必要です。
- Adobe Acrobat Reader、および、Adobe Acrobat のサポート期間が切れているバージョンは Adobe 社からパッチが提供されません。そのため、セキュリティリスクがあります。

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（https://document.intra-mart.jp/library/previous_index.html?product=pdfc）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上